

平和作品

平和作品「祈り鶴」の作者 佐藤重夫さんとの対談記録

日頃は、テーマを決めて作品作りをすすめるとともに、「絵手紙」の教室を主宰し現在20カ所くらいで行っています。

今回の「祈り鶴」は、毎年平和をストレートに表現したいと考え作成している今年の夏の作品です。今年で6年続いています。

個人的には、孫が3人おり戦場に駆り出されないように、直接平和を表現した作品としました。良い詞に出会うと作品にしたいくなり、来年は「ひまわり」とテーマを決めています。

「平和作品」をつくり始めたきっかけは、若い時から、メーデーなどに参加はしていましたが、春日井9条を守る会の知人に勧められたことです。

私の作品が、平和を考える手助けが出来ればうれしいです。いろいろな機会でも活用していただければとおもいます。



小牧市
佐藤 重夫



若者と憲法



北病院
病棟看護師
池田 幹人

5月3日に行った若者100人への憲法アンケートの結果。5月3日は何の日との問いに58%が「わからない」と。この結果だけ見ると自分たち若者の憲法離れが顕著だが、9条を変えるべきかとの問いには「賛成10%に対して、反対は46%」と圧倒的に反対。集団的自衛権についても、「参加すべき：21%、参加すべきでない：77%」と圧倒的反対が多数。憲法は遠い存在であるが、戦争に関する9条や集団的自衛権に関してはしっかり戦争はNOの思いをもっている。本来身近である憲法を「若者がリアリティや実感をもつことができない」との思いには、伝える側が楽しくユーモアをもって語る事こそ、身近に感じる近道」とのある講演を聞いて合点がいった。ひとり一人が憲法を身近に語るとともに、自分自身も憲法を身近に語れる力をつけていきたいと感じた。

考えてみませんか？ 憲法のこと



北区上飯田 荒井 智草さん

広島訪問は2度目で、最初は独身時代の時で今回は男子2人の母親としてでした。昔は戦争は恐いものと歴史の一部という感じでみていました。

でも今は憲法の平和主義の下で、69年間戦争をしなかった日本が、戦争ができる国に変えられようとし、戦争は他国の事ではなくなりつつあります。

子供達の世代に大きくなのしかかってくる事のないように願うばかりです。絶対に子供達を戦争には行かせません。

1面のつづき

原水爆禁止 世界大会に 参加して



荒井さん親子

荒井 裕貴くん

広島平和記念館に行って、せんそうでつみのない人が大ぜいなくなって、げんしばくだんが、たった一つ落ちただけで、一っしゅんにして14万人の人がなくなって、その後多くの人が無くなったことを知りました。

せんそうで、家族とはなればなれになったり、一人ぼっちになったりするのは、ぼくもけいけんしたくありません。だからもうごととせんそうをする国にしたいくありません。